

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VOI.28 —

— ごあいさつ —

副院長兼感染管理室長 曽根 克明



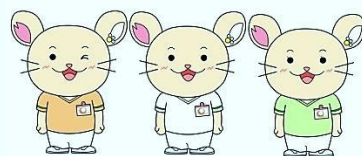
地域の皆様には新型コロナウイルス感染症の感染対策で、6月下旬まで面会禁止等に御協力いただきましたことに感謝いたします。日本は欧米と比較して、新型コロナウイルスの感染者・死亡者の数が少なく抑えられています。原因は複数あると言われていますが、その一つに日本人の高いマスク着用率があることは間違いないようです。私個人は今までインフルエンザの流行期でも外来ではできるだけマスクはしないようにしていました。それはマスク着用がウイルスをブロックする効果に乏しいこと、表情が見えにくい・声が聞こえにくいなどの欠点があるからでした。

ただし今回の新型コロナウイルスでは別の意味でマスクが必要になっています。それは発病前の無症状の時期にも唾液に混ざってウイルスを排出することがわかったからです。ウイルスから自分を守る意味ではなく、知らないうちに周囲の人に感染させない意味でのマスク着用が必要になります。これが、『ユニバーサlmasking』です。もちろん暑い時期に入るため熱中症予防の意味からも、周囲1-2mに人がいない時や会話しない時にはマスクを適宜外すことも大事です。もう一つは、正しい手洗いの実施です。特別なアルコール製剤は必ずしも必要ではありません。石鹸で充分ですので時間をかけて丁寧に行うことが重要です。そして目や鼻を触らないことを意識することも接触による感染予防としては大変重要です。不要に恐れずしっかり対策をとり、乗り越えていきましょう。

～～ 岩手県立中部病院 理念と基本方針 ～～

理 念 心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する。

- 基本方針
1. 安全で質の高い医療を提供する。
 2. 医療・保健・福祉施設、行政との協働を推進する。
 3. 人間性豊かな医療人を育成する。
 4. 明るく働き甲斐のある職場をつくる。
 5. 健全な病院経営に努める。



新任医師紹介

令和2年6月以降に着任した医師をご紹介します。



菅原 千裕

着任	令和2年6月
診療科・職名	周産期医療科長
学会資格等	日本産科婦人科学会（専門医） 日本専門医機構（産婦人科専門医）
ひとこと	後期研修までを過ごした当院に約8年ぶりに戻って参りました。 今年度より産婦人科も新体制になったばかりでご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、よろしくお願いします。

医師赴任により
4月から開始

血液内科
(止血血栓外来)

日本人の血栓症が増えています
～止血血栓外来が始まりました～

日本人に血栓症が少ないというのは昔の話。ここ20年、肺塞栓症（PE）で亡くなる日本人は欧米人の5倍のスピードで増加しています（J Cardiol, 2015）。もうすぐ欧米人の血栓症発症頻度と肩を並べるでしょう。

血栓症には様々あります。脳梗塞、心筋梗塞、深部静脈血栓症（DVT）、PEなどが代表的疾患ですが、これらの症状が出る直前の「隠れ血栓症」は思いの外多いです。血栓症の原因は様々です（下図）が、遺伝性血栓性素因も少なくありません（指定難病327）。その中で先天性プロテインS（PS）欠乏症があります。PSは凝固反応を制御し過剰な血栓形成をコントロールしています。このPS活性が半分以下の方が、妊娠や脱水症・感染症などを契機に血栓症を発症します。特にPS Tokushima という遺伝子変異は日本人55人に1人とされています（Clin Biochem, 2005）。一日50人の患者さんを診察すれば1人はこの血栓リスクを有しています。癌や手術なども強い血栓リスクです。その症状も、DVTでは下肢の痛み、腫脹、発赤（下図）、一時的な歩行困難、さらにPEでは痰を伴わない咳、胸痛、息切れ、呼吸困難など様々です。

治療・予防は抗凝固療法ですが、ワルファリンに加えて直接Xa阻害薬（DXaI）が使えます。3種類のDXaIがあり、その特徴により使い分ける時代です（Cardio Coagulation, 2018）。明らかな血栓症や著しい出血を見てからでは遅い。少しでも疑わしい症状や凝固検査異常があった場合、ぜひご相談ください。



血栓性素因（血栓症の原因となる病態）

I. 先天性血栓性素因

1. アンチトロンビン（AT）欠乏症
2. プロテインS（PS）欠乏症
3. プロテインC（PC）欠乏症
4. フィブリノゲン（Fbg）異常症
5. ヘパリンコファクターII欠乏症
6. ホモシスチン尿症

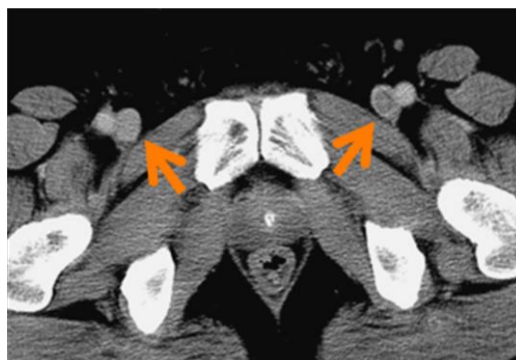
II. 後天性血栓性素因

1. 抗リン脂質抗体症候群（APS）
2. 播種性血管内凝固（DIC）
3. 血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）
4. 溶血性尿毒症性症候群（HUS）
5. ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）

III. 血栓塞栓症の危険因子および病態（続発性血栓性素因）

1. 動脈硬化症
2. 糖尿病
3. 脂質異常症
4. 喫煙
5. 血管炎
6. 心疾患（人工弁心不全、心房細動）
7. 過粘稠度症候群
8. 骨髄増殖性疾患（本態性血小板血症など）
9. 発作性夜間血色素尿症
10. 悪性新生物
11. ネフローゼ症候群
12. 外傷、妊娠、手術
13. 薬剤（経口避妊薬など）
14. その他

(Original Table) 3



ICT活動と手指衛生について

当院では感染管理室メンバー（医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師）をコアメンバーとし、多職種がICTメンバーとして活動しています。毎週の部署ラウンドはコアメンバーで実施し、ICT全員でのラウンドも月に1回行っています。ラウンド時に出された問題点などは改善策を部署で検討してもらい、それぞれの取り組みは互いに参考とするためにも年度末に開催する「改善発表会」にて共有しています。また、ラウンド時には、実際に手指衛生を実施してもらい、手順が正しく行われているかの確認もしています。

現在、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、これまで以上に手指衛生の重要性が再認識されたと思います。2009年WHOが「医療における手指衛生についてのガイドライン」で「手指衛生の5つのタイミング」を提示しました。このようなタイミングで手指衛生を実施することによって、医療関連感染が低減できるとされています。

感染対策としてはマスクや手袋等の个人防护具を使用することも必要ですが、「手」は様々な箇所に触れ、病原体の伝播経路となり得ます。どんな状況でも手指衛生は基本です。医療現場においては、この「手指衛生の5つのタイミング」をしっかり実践し、感染が最小限で抑えられるよう取り組んでいきたいと思っています。



【部門紹介】

臨床工学技術科



臨床工学技士（Clinical Engineer）という職種をご存じでしょうか？

現在、猛威を振るっているCOVID-19治療の最後の砦となるECMO（エクモ：体外式膜型人工肺による酸素化装置）の操作や管理を行う職種と聞けば聞き覚えはありますか？

中部病院には8名の臨床工学技士が在籍しており臨床業務・ME機器管理業務・ME機器教育業務・圏域業務など「生命維持管理装置の操作及び保守管理」を主な業務として働いております。

臨床業務とは心不全等で使用する補助循環装置、血液透析を含む血液浄化装置、ペースメーカー等の徐脈・不整脈治療器、狭心症などの心臓カテーテル検査・治療、呼吸不全で使用する人工呼吸器など生命維持に不可欠な医療機器の直接的な操作を行います。365日24時間待機体制を取っており急患や急変時の対応も行っています。

ME機器管理業務とは放射線科・検査科以外の医療機器の購入検討から導入・運用・保守管理・廃棄に関わる全ての管理を行います。また、県立病院では人事異動があることから看護師が操作や取り扱いで苦慮しないように安全性や業務の効率化のために輸液・シリンジポンプは県立病院全体で統一を行っています。更には医療機器に使用する消耗材料等の安価購入など安全性と経済性の両立にも取り組んでいます。

ME機器教育業務では、新規に導入する医療機器や生命維持に直結する医療機器の操作説明やトラブル対応などの勉強会を医師・看護師・コメディカルへ実施しています。

圏域業務では遠野病院の1ヶ月交代勤務、東和病院・大迫診療所でのME機器管理なども行っています。

我々は、「医療機器の先にいる患者様を診て、患者様の先にいる医療機器を視る」をモットーに患者様の安全と安心できる生命維持管理装置を提供する仕事を行っています。

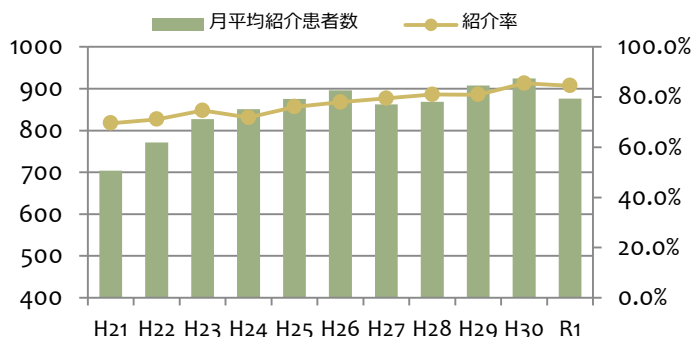
医療機器に関する事でご質問があればいつでも当科へお問い合わせ下さい。

紹介・逆紹介の状況

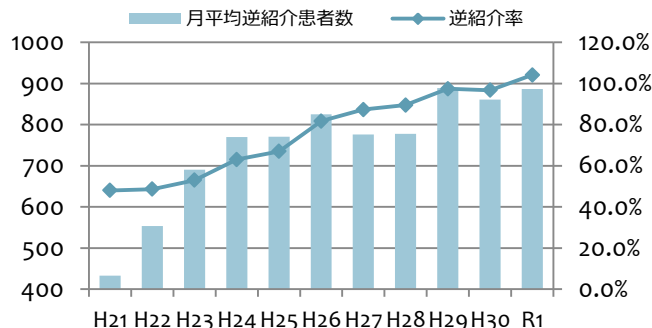
当院では、中部圏域の医療を守っていくため、地域のかかりつけ医様のご協力のもと、重症患者及び緊急性の高い患者を中心に診療を行っています。

これまでの紹介・逆紹介の状況についてご紹介いたします。今後ともご紹介の程よろしくをお願いいたします。

月平均紹介患者数・紹介率



月平均逆紹介患者数・逆紹介率



リンパ浮腫外来



当院では、令和元年度からリンパ浮腫外来を再開しております。手術後や静脈疾患による四肢のリンパ浮腫の患者さんを診察しております。

医師によりリンパ浮腫の診断後、専門的なリンパ浮腫の資格をもつ理学療法士がリンパドレナージュや専用の包帯を用いた圧迫療法を実施してリンパ浮腫の軽減をはかっています。また、セルフマッサージやスキンケアの方法を説明し、日常生活が少しでも楽に過ごせるようにアドバイスを行っています。乳腺や婦人科の手術後、手足の浮腫でお困りの方がいましたらご相談ください。

- 外来日【予約制】 毎週水曜日 午後
 - 所要時間 40～90 分程度
 - 治療費 保険給付外のため1 受診につき 5,370 円
- 《問い合わせ先》緩和ケア外来



地域医療福祉連携室からのお願い ◇当院は予約制です◇

基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともあります。

お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前に予約のお申込をいただくよう、ご協力をお願いいたします。

なお、当日の患者紹介の際は、紹介先の診療科医師に電話にてご一報いただけますと、よりスムーズに患者さんを受け入れることができますので、ご協力をお願いいたします。



岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室
〒024-8507 岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地
TEL 0197-71-1511 (代表) 0197-71-1518 (地域連携室直通)
FAX 0197-71-1881 (地域連携室専用)
URL <http://www.chubu-hp.com/>



発行：2020年8月